

# 現行占領憲法が日本人をダメにした!

## もう避けて通れない——『憲法改正』のここがポイント

憲法はケンカに負けた日本の「詫び証文」だった

昨今のイラク攻撃支持や日朝交渉などをみると、諸外国のしたたかな外交に比べ、我が国には、国としての主体的な基本方針が余りに欠けていると思いませんか? しかし、そもそも我が国の主体性の欠如は、ある意味で当然とも言え、その原因は現行日本国憲法にあるのです。

現行憲法は、戦勝国が敗戦国である我が国を占領し、管理するために作られたものであり、その目的は我が国が二度と敵対しないよう弱体化するための占領基本法でした。

この日本国憲法は占領基本法が、まさに我が国の真の発展を阻害し、国民生活を混乱させる元凶となっています。日本経済が今のようになり落ち込んだのも、米国への過度の依存が一因です。政府の言う「聖域なき構造改革」の聖域とは本来、現行日本国憲法体制を意味すべきではないでしょうか。私たちは、このような占領政策としての憲法を一日も早く破棄し、我が国の歴史・文化・伝統にもとづく、日本人のための新しい憲法を制定しなければなりません。



敗戦直後といえば、主な都市は焼け野原。人々は食糧を求めて、その日を暮らすのがやっと。英語で作られた「憲法」を押しつけられたのは、そんな時でした。(写真/毎日新聞社)

- 1 日本国憲法は、我が国を弱体化させるための占領基本法として押しつけられました
- 2 英文を翻訳した憲法は、とても美しい日本語とは言えません
- 3 前文に書かれた他国依存への甘言は、国民の自主独立の精神を失わせました
- 4 天皇は国家民族の統合の象徴であり、元首としての地位を明確にすべきです
- 5 九条の軍事力否定は、国民から「戦つ自覚」を喪失させ、損得勘定優位の倫理的墮落をもたらしました
- 6 個人主義の行き過ぎは、伝統的社会秩序(家族・男女の役割など)の崩壊を促進しています
- 7 拘子定規な政教分離が、宗教本来の公共性をイビツなものにしています
- 8 現行憲法が占領基本法である以上、改正条項にとらわれることなく国会で失効宣言を行い、直ちに破棄すべきです

新風は、遅きに失した日本の「独立」を果たすための政党です

## 維新政党・新風本部

ホームページ <http://www.shimpu.jp/org/>

〒604-0912 京都市中京区二条通河原町東入  
京都書店会館2F

TEL.075-256-1545 FAX.075-241-2193

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-7-5  
麹町ロイヤルビル401号

TEL.03-3263-7591 FAX.03-3263-8790